862
1

# 中天竺馬丹物語

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1

ガラス使用

862
1
7

# 中天竺馬丹物語

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』 請求記号 862-1

ガラス使用

862-1
(7)

中天竺之内馬丹海に新風と云ふ所にあるとかれば
水をもとめ中に書

国立国会図書館

一

尾張国知多郡大野村孫九郎と中町人之来る商人之材木
を積人数指数人宗三年紫宗申九月九日に大野村を出船
同十月中旬に江戸に着船町同屋弁口久太郎事故ゆゑ荷物之
銭方之に相渡し廣島に版米二石程入して尾張様に材木
数ハ荒ふ中に千斤千賀志麻嶋廣島同ち八郎廣荷物
積同年十月末に江戸を出船仕り伊豆国下田を出船
同春に冬別行頃之内大山三里程沖へ来る此に中風
にしく此事尾張国を三日里斗の所にしたゝ中に
如く来り称伊勢国まこと大海ゟ三里程沖之有覧
に如し此に大まとの過る大和風強吹中に付

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1

ガラス使用

ことのよし申す

石の如く私共大成二月十日に二丹と申す極月六日の当月十日迄三年と申す迄の月日に如何なる海をも渡り南京の表へ参り候へ共十に一つも無事に帰国仕る者これなく候。然る処に去る年二月十日に南京の内より大明皇帝より御使として日本へ参り候。其の時分日本の内にて御使を殺し申すべきの由申し候へ共、其の時分日本の内にて御使を殺し申すべきの由申し候へ共、其の時分日本の内にて御使を殺し申すべきの由申し候へ共、

遠ひやはとてあやしこやはと又禁しやはは是は先
ほとよやはとくはふ丹まし找木も黄ひ禁した
此ゝ為日記ましは詳しやはは是を知しやはは
いつゝり其府南京人先ゝ是を送りはとて弟太郎
なと是ゝやはこ年めに来しやはとの見ゝやは現は方
一条にて禁しゝ記と語ふこゝ也記路三里ほと
藤見人はこ府其所ハ様ハ能ゝ所ましは所ゝ
記とかけ所やはは南京人異れやはとの

一 弟八斗様　やはん一ツ形ハ旧和と遠イやは
一 竹の子漬かし　塩かし旧太郎　塩しと古年
一 松板武枝　薪是也　本綿是物ゝ
一 縄京かし　縄ゝの計旧和

一 其紀ゝ一米ゝ其長縄へ之ゝ詳ハ記路杯若宮
紙縄ハ書絵留ニ詳し米西南小を有望やは
右のゝ南京の者左大ゝ物をくれ急ぎ詳ハ
編ニ天照太神の御めくと又ハ　上様御いふ
いらくのゝて近も知つまりはて旧和の事ハ存ゝ
面ましハ花ハ詳ハ皆し新有ゝ和ゝや旧和へ
条忘やはん代ましこ丹の母を見ゝ物を今さら
思ひ出しらん先しく弟やは丹人ハ旧和之事ハ
皆およひ中天竺ゝなしのるハ皆およひ存ハ右
の和ハ旧和廿日斗遠留詳し旧和を本詳やは内ニ
小船ハ人ゝ家ゝ条ゝ其人ハ云ゝ無ゝも能く通しやは

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1

ガラス使用

中にハ芝ハ月毎に文鴨と云和之語ニハ何里に有ニ
ハ[illegible]と[illegible]第ハ度稲ニハ尾張[illegible]大和村と中不ニ有
ハ三年[illegible]ニ難風ニあいハ[illegible]
丹ニ稲子姫[illegible]ニ[illegible]其時[illegible]人穢[illegible]有
[illegible]文鴨ニ濃[illegible]一通[illegible]
[illegible]人分
[illegible]又[illegible]人の稲[illegible]人
[illegible]書付[illegible]
[illegible]要細ニ出[illegible]
[illegible]十[illegible]文
[illegible]
[illegible]

一 版[illegible] 三斗[illegible]

[illegible]

一 三斗[illegible]入
一 三斗 七升入
合四俵

一 塩
一 味噌
一 薪
一 塩[illegible]を

[illegible]
和三艘[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1

ガラス使用

一 いき物ハぶつ　一 たい　一 鄭年
一 庭鳥　一 ぐじら　一 稱こ
一 稱つこ　一 犬　一 ちちおき
一 こりけ日本にしとゝ事くとゆうを
一 ゑんとゝ出いゝ　一 うをも海にてかゝ物ハ
一 薩鳥（兄ハ日本のそゝかんつゝ）　一 雀のこゝ成鳥
一 犬を喰事ハ　一 女ハ喰事ハ（男も家ハ喰事ハ）

一 年にさらひも如く春ハ月と申さらひもなる日當月
の三ヶ月をうん又来月に三ヶ月をうんて一ヶ月に
根子ゑん中ハ向後四季にさらひもなくかん實と
云ふもの云ふ如ハ何度あつてゝ成而之至ニ門と相ふ

時ハ日本に三月時ゑに稱之物と云ふも佛と云ふ
を而稱ニ親を称ふも又年季礼實なと
いふ事も如し

一 姫入鮮とると中事ハ親死てをとむらいと云ふ
如し死人ハたゝけに埋中ハ

一 生ニ宮ニよひゆゑ名組ニ出ふ家
ニ門ハ入ふ事ハ居て石ニ腰かけをのを稱ハ家
ハ二男ニ九尺八寸程ニ行も御中ハ本に反ふらけ
屋稱ハ名ハそふまゝしハ

一 家ニ新ニ寸三尺計之お入ニハたいハて此又餘ハ家
ニ門ニ愛物とてもなく其を持ちなるへ天上ニて居奴

世りやうに男上てまいりたるの根
おもりけて福やかなるものとりくる
一
家ごとに人ごと家を作りて
り中其家の日ものり過りよ
有其中に風入てかくれ
けんやうに入て悪事をなして後
ち再返りて向ふ家八百軒を今銭
はらひてゆきぬ乳谷軍於ては再その夏なく
年のうち梅甲八本数を
そかしこ

一

一

一

862
1

永井藏書

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『中天竺馬丹物語』 請求記号 862-1

ガラス使用

862
1

国立国会図書館　　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『中天竺馬丹物語』　請求記号 862-1

ガラス使用